

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

学校名【 大治町立大治西小学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	3年生 108名（道徳＋講演＋体育） 4年生 103名（道徳＋講演＋講習＋体育） 5年生 95名（体育） 6年生 90名（体育）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・特別の教科 道徳） ② 行事名（講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック・パラリンピック教育の推進によって、児童のスポーツへの興味・関心、スポーツを楽しむ心の育成を図る。</li> <li>・ スポーツを「する・見る・支える・知る」という観点から、自己有用感・自己肯定感を高め、自他を認め合う児童の育成を図ったり、自他への健康意識を高め、元気に活動できる児童の育成を図ったりする。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) &lt;事前指導&gt;各クラスにて 事前アンケートの実施後、2020東京オリンピックの競技種目クイズを行った。</p> <p>(2) &lt;講演会&gt;11月24日（火）5・6限 オリンピック・パラリンピアン派遣プロジェクトの派遣オリンピック千田健太（フェンシング）氏をお招きし、講演、デモンストレーション、スポーツ講習を行うことで、「本物に触れる機会」とした。</p>





(3) <体育実践>各クラス3～4時間程度

体育の内容「体づくり運動」として、愛知教育大学附属名古屋小学校の実践を参考に、「フェンシング」を簡易化したゲームを行った。

【目標】

直接攻撃があり、相手と対峙するフェンシング的なゲームを通して、心と体の状態に気付いたり、その関わりについて考えたりして、学びを深めていく。目の前の相手との1対1の「強い交流」から人それぞれに違いがあることを知り、誰とでも仲よく協力したり助け合ったりしてゲームを行う。そして、友達と一緒に体を動かす楽しさやつながりを体感させる。

【学習内容】

相手と対峙する中で、心と体に関して、どのような気付きがあったか、また、どのような関わりがあったかを学ぶ。

【方法】

フェンシング的なゲーム

- ・ 縦長のコート
- ・ 直接的な攻撃

【ルール】

剣先にある布を相手の胸元にある的に先に付けた方が勝ち。



(4) <道徳実践>各クラスにて

オリンピック・パラリンピアンを題材とした教材【教育出版】を用い、自分のよさをさらに伸ばそうとする心情を育てたり、目標に向けて努力し続けようとする心情を育てたりした。

3年生 教材名「ぼくらしさってなんだろう」

(個性の伸長)

体操：白井健三

4年生 教材名「ゆめに向かって泳ぐ」

(希望と勇気、努力と強い意志)

水泳：寺川 綾

	<p>(5) &lt;事後指導&gt;各クラスにて          オリンピック・パラリンピック教育を振り返り、「する・観る・支える・知る」という観点からスポーツに対する考えや2020東京オリンピック・パラリンピックに対する思いについて意見交流をした。その後、事後アンケートを実施した。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>千田健太氏の講演会を開催したことで、オリンピックの概要やフェンシング競技について知ることができた。また努力を重ねる大切さ、支えてくれる仲間や家族の大切さなどを教えていただいた。銀メダルにも一人一人が触れることでまさに「本物に触れる機会」となった。</li> <li>事前・事後指導、道徳実践、体育実践を通して、オリンピック・パラリンピックやスポーツへの興味・関心、スポーツを楽しむ心の育成を図ることができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリパラ教育の実践についてホームページで保護者や地域に発信した。</li> <li>愛知教育大学附属名古屋小学校の実践を参考に、用具をレンタルして実施した。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェンシング的なゲームを体育実践するためには用具（サーベル・ゴーグル・ビブス・マジックテープなど）が必要となる。</li> <li>オリパラ教育を推進するためには、単発の行事として実践するのではなく、道徳や学活、体育など横断的なカリキュラムの中で位置付けをはっきりさせる必要がある。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<p>現在の社会情勢を鑑みながら、教育活動全般を通して、カリキュラムを編成し、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、引き続きオリパラ教育を継続していきたい。</p>